

自家培養表皮ジェイス®

皮膚は、わたしたちのからだの最も外側でいろいろな刺激や異物からわたしたちを守ってくれる臓器です。小さな切り傷が数日で治ることからも分かるように、皮膚は再生能力に大変すぐれています。しかし、熱傷やケガなどで広範囲に皮膚が損傷した場合は、周囲の正常な皮膚細胞による再生が間に合わないため、感染症などで生命の危機に陥ることもあります。受傷が広範囲に及んだ場合は、健常部位からの自己植皮やスキンバンクの利用、動物の皮膚を移植するなどの方法がとられてきました。ただし自己植皮は患者からの採皮が見込めればできませんし、その他の方法も免疫拒絶や感染症の危険性が高いことが問題となっていました。

そこで、自身の正常な皮膚から増殖能力が優れた表皮細胞を取り出して人工的に培養し、皮膚のようにシート状にしたものを受傷部位に移植する培養表皮移植の技術が開発されました。培養表皮を受傷部位に移植することによって、表皮を再生させ治療します。

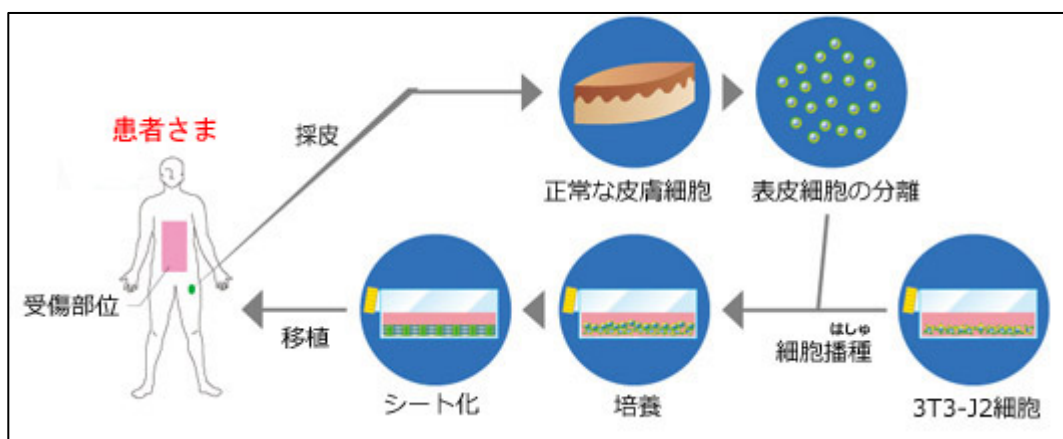
「自家培養表皮ジェイス®」は2009年1月に保険適用になりました。保険適用に関する留意事項として、「施設基準」と「算定限度」という条件が定められています。

[\(診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について：保医発 0305 第1号 の一部改正について\)](#)

さらに、ジェイスは表皮水疱症への適応拡大に向けた治験も進められており、表皮水疱症の治療を目的とした希少疾病用医療機器に指定されています。

*表皮水疱症（ひょうひすいほうしょう）

日常における非常に弱い刺激や摩擦などで、全身の皮膚や粘膜に水疱（水ぶくれ）やびらん（皮膚がむける＝ただれ）ができる遺伝性の病気です。



図：自家培養表皮の移植フロー

(出典：株式会社ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング)